

タカノ通信 Vol.61



© Snowman Enterprises Limited 2026
THE SNOWMAN™ Snowman Enterprises Limited

第73期 年次報告書
2025年4月1日から2026年3月31日まで

株主のみなさまへ



代表取締役会長

鷹野 準

代表取締役社長

鷹野雅央

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社の第73期の業績ならびに次期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

当期の業績について

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日）におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が残るものの、設備投資が緩やかに持ち直すなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策の動向や金融資本市場の変動に加え、中東情勢の緊迫化に伴う資源・原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱に対する懸念が景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況において当社グループでは、中長期的には成長が期待される半導体関連製品の受注獲得に向けた販売強化および製品開発に努めるとともに、当社グループの主力事業の一つであるオフィス家具事業においては、新しいオフィスのあり方に対応した製品分野の事業展開に引き続き注力してまいりました。

主力事業の概況につきましては、産業機器事業の半導体関連向け電磁アクチュエータの販売が低調に推移し

た一方、住生活関連機器事業のオフィス用家具製品および検査計測機器事業のフィルム向け検査装置の販売が堅調に推移いたしました。

この結果、主に住生活関連機器事業および検査計測機器事業の販売の増加により、当連結会計年度の売上高は24,802百万円で、前連結会計年度比833百万円、3.5%の増収となりました。

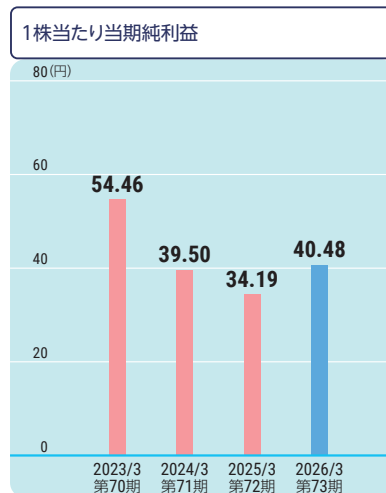
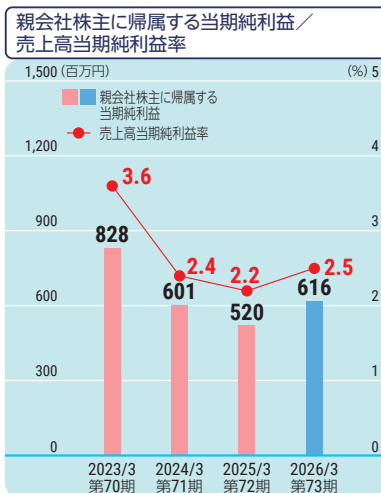
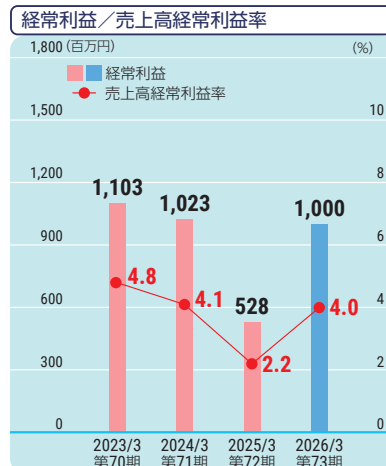
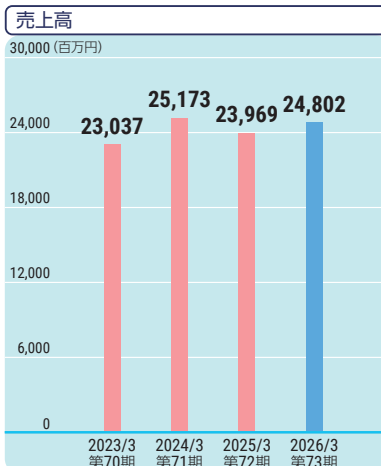
利益面につきましては、増収にともなう粗利益額の増加等により、営業利益841百万円（前連結会計年度比390百万円、86.5%の増益）、経常利益1,000百万円（前連結会計年度比471百万円、89.2%の増益）となりました。また、特別損失に産業機器事業に係る固定資産および連結子会社である株式会社ユーキ・トレーディングの企業結合において生じたのれん等の減損損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は616百万円（前連結会計年度比95百万円、18.4%の増益）となりました。

次期業績の見通しについて

今後の見通しにつきましては、米国の通商政策の動向や円安も加わり、国内の消費者物価上昇等、経済環境は急速に変化しております。また、イランでの紛争を発端とする中東情勢の緊迫化は、原油価格の急騰や電子デバイス関連の材料市場のサプライチェーンの混乱等、大きな影響が懸念されております。このような状況のなか、当社グループの主力製品が関係するオフィス家具業界においては、新しいオフィスのあり方に対応した製品分野の需要の増加が期待され、また、検査計測機器・産業機器分野での半導体製造業界向けの検査装置および医療分野については、中期的に堅調な需要を予測しており、これに対応すべく事業構造改革を推進してまいります。

次期の連結業績につきましては、売上高25,000百万円（前連結会計年度比0.8%増）、営業利益1,000百万円（前連結会計年度比18.8%増）、経常利益1,100百万円（前連結会計年度比10.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益730百万円（前連結会計年度比18.5%増）を見込んでおります。なお、中東情勢の緊迫化による影響については、状況が極めて流動的であることから、現時点では業績予想に織り込んでおりません。

また、次期の年間配当金は1株につき20円を予定しております。



次期業績の見通し

連 結	
売 上 高	25,000百万円 (前期比0.8%増)
経常利益	1,100百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	730百万円

取締役のスキル・マトリックス

当社では、取締役と監査役がそれぞれの経験や専門性を活かし、経営の意思決定と監督・監査を担っています。スキル・マトリックスでは、各メンバーの知見・経験に基づく期待するスキルを示しています。多様なバックグラウンドを持つ人材が揃うことで、幅広い視点から会社の成長と健全な経営を支えています。

氏名	役職（予定）	知見・経験に基づく期待するスキル									
		企業経営	研究開発・製造・品質	営業・マーケティング	財務・会計	グローバルビジネス	人材開発・労務・ダイバーシティ	地球環境	コーポレートガバナンス	リスク管理・法務・コンプライアンス	AI・IT・DX
鷹野 準	代表取締役会長	●	●	●			●	●	●	●	
鷹野 雅央	代表取締役社長	●		●	●	●	●		●	●	●
大原 明夫	常務取締役	●			●	●	●	●	●	●	●
下島 久志	取締役		●	●				●			●
植田 康弘	取締役		●	●		●			●	●	●
山本 幸康	取締役		●	●	●			●		●	●
黒田 康裕	取締役（非業務執行）	●		●	●	●	●		●	●	
堀江 雅之	取締役（非業務執行）	●		●	●	●	●		●	●	
瀧本 真矢	社外取締役	●			●				●	●	
高嶋 厚	取締役（常勤監査等委員）						●		●	●	
長谷川 洋二	社外取締役（監査等委員）								●	●	
小松 哲夫	社外取締役（監査等委員）	●			●				●	●	

（注）上記スキル・マトリックスは、各人の有するすべての知見・経験を表すものではありません。

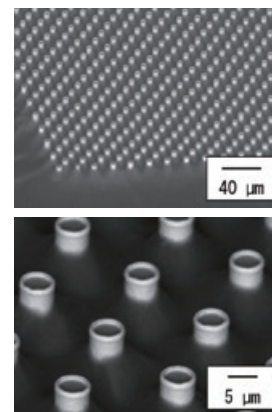
<各スキルの定義>

企業経営	経営環境の変化を見定め、適切な戦略構築を行い、責任ある経営執行を支える
研究開発・製造・品質	革新的な研究・技術開発により世界トップ水準の品質提供を確保する
営業・マーケティング	事業環境やお客様のニーズを的確に捉えた営業戦略を策定し、市場優位性を確保する
財務・会計	正確な財務・会計報告は勿論のこと、持続的な企業価値向上に資する財務戦略の策定を支える
グローバルビジネス	多様な価値観・文化を理解し、グローバルな視座で意思決定を行う
人材開発・労務・ダイバーシティ	多様な人材の成長支援と活動支援を推進する
地球環境	CO ₂ 排出量削減による脱炭素社会の構築
コーポレートガバナンス	業務執行のガバナンス状況を把握し、適切な課題提起を行う
リスク管理・法務・コンプライアンス	リスクコントロールの状況を把握し、適切な課題提起を行う
AI・IT・DX	最新のAI、ITやDXの知見を活用しながら、生産性・業務効率性の向上を牽引する

技術開発本部

MEMS技術活用「先端半導体検査用プローブ」を開発

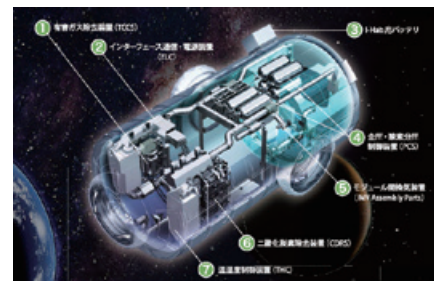
MEMS（微小電気機械システム）技術を活用した「先端半導体検査用プローブ」を新たに開発いたしました。近年、半導体デバイスは極小化・高集積化が加速しています。これとともない、検査工程においても従来技術の限界を超える、より微細で高精度なコンタクト技術が求められていました。本製品は、業界最小クラスとなる「 $20\mu\text{m}$ 以下」のピンピッチを実現し、10万ピン以上の高密度配列が可能です。また、高速通信に不可欠な高周波測定に対応しつつ、検査対象へのダメージ低減と低コスト化を同時に達成しました。当社は、この独自技術を足掛かりに次世代デバイスの進化を支え、拡大する半導体市場において、検査関連事業のさらなる成長を目指してまいります。



産業機器部門

JAXA「月周回有人拠点Gateway（ゲートウェイ）居住棟」のバルブ開発を受託

当社では、JAXAが主導する月周回有人拠点「Gateway」の国際居住棟（I-Hab）向け、環境制御・生命維持システム用バルブの開発を三菱重工業株式会社より受託しました。このバルブは、居住区内の酸素濃度や圧力を調整し、宇宙飛行士の活動を支える極めて重要な役割を担います。過酷な宇宙環境下での「確実なガス遮断性能」や「小型軽量化」といった高い要求に対し、産業機器部門で培った流体制御技術が高く評価されました。2026年度の実証を経て、将来的な実機搭載を目指しています。「長野発、月で流体を制御するメイド・イン・ジャパン技術」として、拡大する宇宙産業のプレゼンス向上を図ってまいります。



ヘルスケア部門

タカノクッションS販売開始 ～快適性と選びやすさを追求した新スタンダード～

本年1月、当社ヘルスケア部門の新商品「タカノクッションS」の販売を開始しました。当社は30年以上にわたり車いす用クッションを販売してまいりましたが、近年の車いす高機能化や、介護現場からの「より選びやすく、より快適に」という声に応えるため、ロングセラー製品「タカノクッションR」をフルモデルチェンジしました。新製品「S」には、Simple（構造）、Seating（姿勢）、Special（快適さ）、Standard（定番）という4つの想いが込められています。



【主な特徴】

1. 独自の「ウレタン積層構造」

硬度や密度の異なるウレタンを組み合わせる当社独自のノウハウにより、体圧分散性能と姿勢の安定性を高いレベルで両立させました。長い座り時間でも疲れにくい構造です。

2. 新機能「シャインスポット」

新たに開発した機能として、座面後方に13個のくぼみ（シャインスポット）を配置しました。これにより、負担のかかりやすい尾骨・仙骨の圧力を効果的に分散します。

3. 選びやすい「4タイプ」

従来の6種類から、特にニーズの高い4種類（高機能、前ズレ防止、フラット、薄型）にラインナップを集約。利用者の身体状況や車いすの種類に合わせて、最適な一つを迷わず選定できるよう体系化しました。

タカノは、本製品を通じ、車いす利用者のQOL（生活の質）向上に貢献するとともに、これからの車いす用クッションの「新スタンダード」として市場への浸透を図ってまいります。

生成AI活用成果報告会

当社は、全社的な生成AI活用の取り組みを共有する「第2回 生成AI活用成果報告会」を開催いたしました。今回は「個人利用から組織活用・製品応用へ」をテーマに、全9部門が成果を発表。

海外営業における事務作業の大幅な自動化や、AI駆動の製品自動設計システムの構築など、業務フローの根本的な再構築や製品開発に直結する多様な事例が報告されました。

今後もAIを活用した「仕事の再構築」により社員の付加価値を高め、製造業から「創造業」へと進化することで、持続的な成長と新たな顧客価値の創出を目指してまいります。



宮田村とタカノ共同申請「自然共生サイト」認定



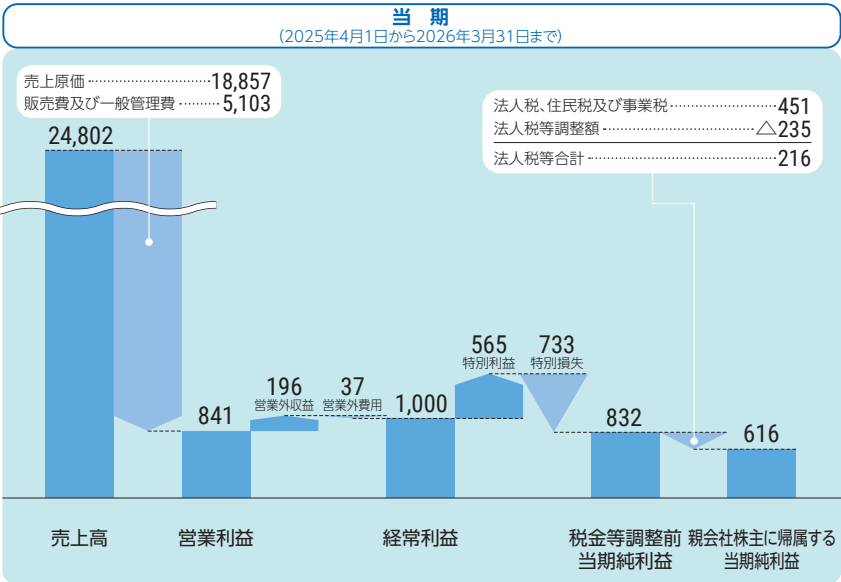
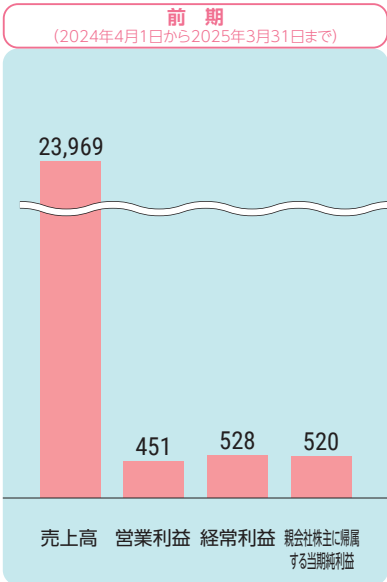
2025年4月に施行された地域生物多様性増進法に基づき、長野県宮田村と共同で申請した増進活動実施計画が認定され、【中央アルプス駒ヶ岳山麓の里山エリア】が「自然共生サイト」となりました。今回認定された場所は、タカノが管理するルビーの里駒ヶ岳ガーデンを中心としたエリアです。駒ヶ岳ガーデンでは、カラマツやシラカバに囲まれた赤い花のソバ「高嶺ルビー」が幻想的に咲いています。宮田村が管理する「アサギマダラの里」と併せて生物多様性が評価され、今回の認定に至りました。豊かな自然を次世代につないでいくため、引き続き宮田村と連携した保全活動を進めてまいります。



連結決算概要(要旨)

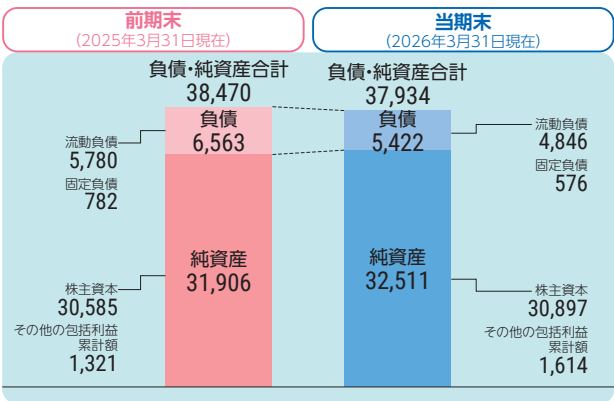
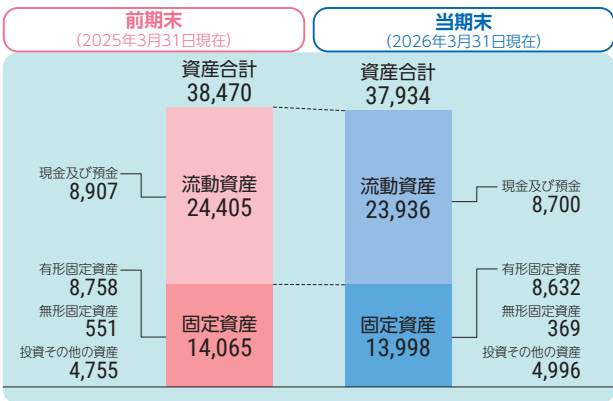
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

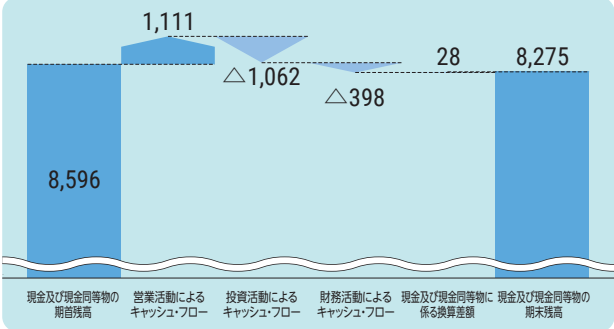


連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

当期

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)



Point 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度と比較して275百万円増加の1,111百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少額1,199百万円、法人税等の支払額316百万円等により資金が減少した一方、税金等調整前当期純利益832百万円、減価償却費913百万円、減損損失733百万円、棚卸資産の減少額324百万円等により資金が増加したことによるものです。

投資活動により支出した資金は、前連結会計年度と比較して728百万円増加し、1,062百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入912百万円等により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出1,334百万円、投資有価証券の取得による支出414百万円等により資金が減少したことによるものです。

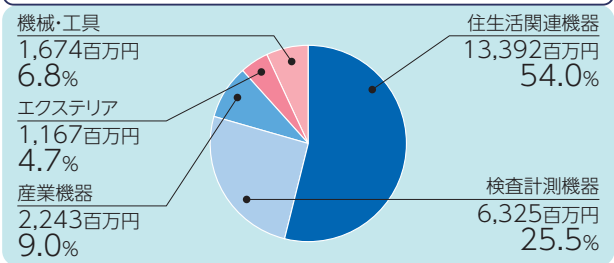
財務活動により支出した資金は、前連結会計年度と比較して27百万円減少し、398百万円となりました。これは主に親会社による配当金の支払額304百万円等により資金が減少したことによるものです。

セグメント別概況

(単位：百万円)

	売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
住生活関連機器	12,764	13,392	4.9%	472	764	61.8%
検査計測機器	5,979	6,325	5.8%	61	232	274.8%
産業機器	2,268	2,243	△1.1%	△257	△247	－%
エクステリア	1,252	1,167	△6.8%	87	14	△83.0%
機械・工具	1,704	1,674	△1.8%	98	110	11.8%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△11	△32	－%
合計	23,969	24,802	3.5%	451	841	86.5%

セグメント別売上高構成比



会社概要 (2026年3月31日現在)

商 号 タカノ株式会社
 本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
 創 業 1941年7月1日
 設 立 1953年7月18日
 資 本 金 20億1,590万円
 事 業 内 容 事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、検査計測装置、電磁アクチュエータ、医療・健康福祉機器、臨床検査薬の製造ならびに販売
 従 業 員 数 616名
 上場取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<https://www.takano-net.co.jp/>

役 員 (2026年6月25日現在)

代表取締役会長 鷹 野 準
 代表取締役社長 鷹 野 雅 央
 常 務 取 締 役 大 原 明 夫
 取 締 役 下 島 久 志
 取 締 役 植 田 康 弘
 取 締 役 山 本 幸 康
 取 締 役 (非 常 勤) 黒 田 康 裕
 取 締 役 (非 常 勤) 堀 江 雅 之
 社 外 取 締 役 濱 本 真 矢
 取 締 役 (常 勤 監 査 等 委 員) 高 嶋 厚
 社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 長 谷 川 洋 二
 社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 小 松 哲 夫

グループ会社 (2026年3月31日現在)

- 株式会社ニッコー
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 工具・器具機械等の仕入販売
資 本 金 90百万円
- タカノ機械株式会社
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 省力化機械の製造販売
資 本 金 50百万円
- 株式会社ユーキ・トレーディング
住 所 東京都台東区
事業内容 福祉用具・健康用品の輸出入および国内販売
資 本 金 10百万円
- 台湾鷹野股份有限公司
住 所 中華民国台中市
事業内容 検査装置の保守サービス
資 本 金 20百万台湾元
- 上海鷹野商贸有限公司
住 所 中華人民共和国上海市
事業内容 オフィス椅子等の仕入販売
資 本 金 50万米ドル
- 香港鷹野国際有限公司
住 所 中華人民共和国香港特别行政区
事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)
資 本 金 1百万香港ドル
- 鷹野電子(深圳)有限公司
住 所 中華人民共和国広東省深圳市
事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)
資 本 金 1百万人民元
- Takano of America Inc.
住 所 米国カリフォルニア州トーランス市
事業内容 エレクトロニクス製品の仕入・販売
資 本 金 80万米ドル

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2025年度の株主優待は、2025年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは7点の商品のなかから1点をお選びいただき、12月に贈呈いたしました。100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」を同時期に贈呈いたしました。2026年度の優待品も、みなさまにお喜びいただけるよう厳選の品をお送りする予定ですので、ご期待ください。

※2026年度の株主優待品は、2026年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、本年12月より順次お送りさせていただく予定です。



A. ウイスキー



B. 信州りんご



C. 高嶺ルビーはちみつ



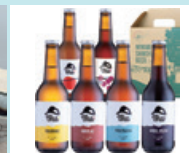
D. なめたけ6本入り



E. 信州富士見高原ハム・ソーセージ



F. 高嶺ルビー信州蕎麦セット



G. 南信州ビール【Ogna】飲みくらべ6本セット

株式の状況 (2026年3月31日現在)

Stock Information



●株式・株主の総数

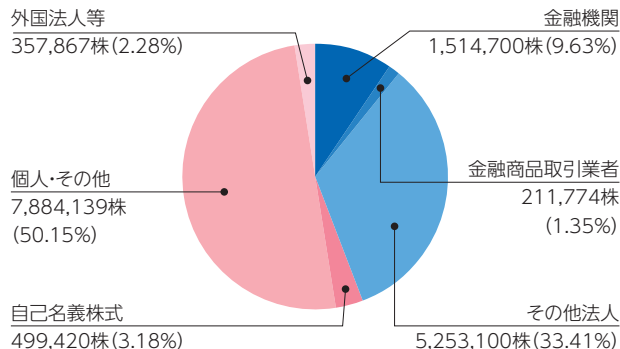
発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 15,721,000株
株主数 11,876名

●大株主

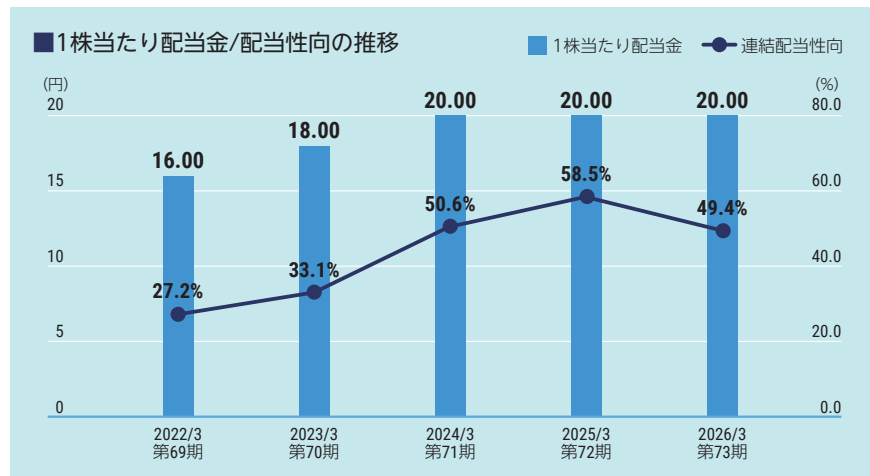
株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	14.13%
日本発条株式会社	2,151,500株	14.13%
堀井 朝運	1,487,400株	9.77%
株式会社鷹山	1,165,000株	7.65%
水元 公仁	426,600株	2.80%
タカノ従業員持株会	420,040株	2.75%
一般財団法人鷹野学術振興財団	380,000株	2.49%
タカノ取引先持株会	378,800株	2.48%
株式会社八十二長野銀行	283,900株	1.86%
INTERACTIVE BROKERS LLC	224,100株	1.47%

(注) 1. 当社は、自己株式を499,420株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式(499,420株)を控除して計算しております。
3. 日本発条株式会社の持株数には、同社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,000千株(持株比率6.56%)を含んでおります(株主名簿上の名義は「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託日本発条口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行」です。)

●所有者別株式の分布状況



●配当金および株価等のデータ



※2022/3(第69期)は、記念配当2円を含んでおります。

株価

1,043円

単元株式数

100株

必要最低投資金額

104,300円

上記は2026年3月31日の終値を基に算定しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711（通話料無料）
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
（公告掲載アドレス）	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

ご注意

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

社員アスリートの挑戦

～信州松本トライデント所属 安原大選手～

当社では、多様な人材の活躍推進の一環として、アスリート社員の支援を行っています。その一人である安原 大（やすはら だい）選手は、入社3年目を迎えるバレーボールのSVリーガーです。

身長190cmの体躯を生かしたミドルブロッカーとして活躍する一方、業務面では採用・広報やアグリ事業（トマト栽培）を担当し、競技と実務のハイブリッドなキャリアを形成しています。プレイ中の鋭い眼光と、社内での誠実な勤務態度は、周囲の社員にも良い刺激を与えています。シーズン本番となる10月から翌4月にかけて、さらなる飛躍が期待される安原選手に、皆さまの熱いエールをいただけますと幸いです。



▼安原選手のインタビュー動画はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=NgUKvAEmiU4>